

# 研究実施のお知らせ

2020年02月5日 ver.1.0

## 研究課題名

胸部 CT 検診受診者における慢性閉塞性肺疾患と問診票の関連性に関する検討

## 研究の対象となる方

2009年4月から2018年3月の間にJA島根CT検診を受けられた方

## 研究の目的・意義

慢性閉塞性肺疾患（COPD）はタバコの煙などの有害な物質を長い間吸い続けることで起こる肺の病気です。COPDの患者さんの肺では、空気の通り道である気道が炎症を起こしたり、酸素を取り込む肺胞の壁が壊れたりします。その結果、動いた時に息切れをしたり、慢性的に咳や痰が続きます。COPDは適切な管理を行うことで進行を予防できる病気であり、COPDのリスクが高い人を調べるには問診が有効と報告されています。島根大学医学部附属病院内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学とJA島根厚生連では、2009年から肺癌とCOPDの早期発見を目的に低線量CTによる胸部CT検診を行っており、受診者に問診票記入を依頼しています。胸部CT検診の受診者は年間2000人から4000人であり、検診で要精査となった受診者には精査医療機関の受診を勧め、精査医療機関での検査の結果、毎年10名前後の肺癌と100名前後のCOPDを発見することができています。島根県におけるCT検診データを用いて、COPDと問診票の関連性を検討することで今後COPDのリスクが高い人を調べやすくなる可能性があります。

## 研究の方法

以下の項目についてJA島根厚生連で収集された検診データを使用し後向きに調査を行います。

研究対象者の背景（年齢、性別、喫煙歴、既往歴、呼吸器症状（「胸部CT検診問診票」に基づく）の有無）、検診結果、最終診断名

収集されたデータは匿名化され、個人情報が出ないようにし、JA島根厚生連から島根大学へ持参されます。また、研究データは島根大学医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学内の外部からアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで利用可能な研究者を制限します。外部へ持ち出すことはありません。研究結果は学会等で発表しますが、患者さんの個人情報が含まれることはありません。

## 研究の期間

調査対象となる期間：2009年4月～2018年3月

データ解析期間：倫理委員会承認後から2020年7月

## 研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 谷野 明里

### 参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科

[研究責任者]

谷野 明里

### 情報提供機関

[研究機関]

JA 島根厚生連 健診事業部

[研究責任者]

石倉 慎士

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020年5月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科附属病院 呼吸器・化学療法内科 谷野 明里

講座責任者：

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・化学療法内科 磯部 威

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2581 FAX 0853-20-2581